

# 記者発表資料



天ちゃん 神ちゃん

平成18年6月22日

## ○水防体制の充実

近年、前線性の局地的豪雨や台風により各地で大きな被害が発生しました。平成17年は、とくに北陸地方を中心とした梅雨前線による局地的豪雨や関東地方を中心とした前線性の局地的豪雨、九州・四国・中国地方を中心とした台風14号による記録的な豪雨などにより甚大な浸水被害となりました。

このような災害を踏まえ、倉吉河川国道事務所では補助距離標の設置、CCTV画像のネット配信、重要水防箇所の水防団との合同点検等を行ってまいりました。

平成18年度はこれらの取り組みを継続していくとともに新たに洪水時に備えて大型土嚢と土嚢用の砂を設置しました。今後、補助距離標の路面表示、量水板の堤防法面への設置、CCTVの増設等を予定しております。

### 問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

郵便番号 : 682-0018

住 所 : 鳥取県倉吉市福庭町1丁目18番地

電話番号 : 0858-26-6221

(担当)

副所長(河川) 笹岡 総一(内204)

調査設計第一課長 坂田 重美(内351)

河川管理課長 安藤 孝夫(内331)

# 水防体制の充実について

一昨年来の集中豪雨や台風による災害を踏まえた改善事項及び平成18年度に引き続き取り組む改善事項

## 1 洪水対策

### (1) 補助距離標の設置

#### 【実施内容】

位置確認をするため、河川に河口からの距離を示した補助距離標を設置しました。

#### 【期待される効果】

水防活動や被災箇所等の位置情報の精度が向上し、的確かつ迅速な対応が可能となる。

#### 【今年度の取り組み】

200mピッチの補助距離標の設置を進めていくとともに、天神川の竹田橋～大原橋の左岸の管理用通路について200mピッチの路面表示を実施します。

### (2) 洪水時の備えた事前応急対策

#### 【実施内容】

洪水時に備えて大型土嚢と土嚢用の砂を設置しました。

#### 【期待される効果】

梅雨や台風による異常出水に迅速に対応できるため、水防活動が適時的確に実施できるとともに甚大な被害の軽減が図られます。

### (3) 量水板の改良

#### 【実施内容】

堤防天端までの量水板設置します。

#### 【期待される効果】

出水に備え既往データの収集や痕跡水位の正確な把握が可能となり現状の把握や将来の解析等に有益な情報となります。

## **(4) 堤防天端の舗装**

### **【実施内容】**

雨水浸透対策として堤防天端の舗装を実施します。

### **【期待される効果】**

堤防天端からの雨水の浸透を防ぎ、堤防の弱体化を防止することにより破堤等の重大な被害の軽減が図れます。

### **【今年度の取り組み】**

堤防天端の舗装の整備を推進します。

## **2 災害対策**

### **(1) 災害対策車の配備**

倉吉河川国道事務所は災害に対する山陰地方の基地事務所となっており、小規模災害から中・大規模災害までを想定した災害対策機械を配備しています。

### **【実施内容】**

排水ポンプ車 2 台、衛星通信車 1 台、照明車 3 台、対策本部車 1 台、待機支援車、造水機 1 台を配備

### **【期待される効果】**

多種多様な災害対策機械を配備し臨機応変に対応できる。

(H17 台風 14 号による内水排除を目的に倉吉市西福守地先へ排水ポンプ車及び照明車を派遣))

### **【今年度の取り組み】**

災害対策機械操作訓練の実施 (6 月 8 日)

災害対策機械として、埋設物探査装置、遠隔操縦装置の導入を予定しています

### **(2) 情報伝達の二系統化とホットラインの設定**

### **【実施内容】**

水防警報や洪水予報を直接自治体に提供できる情報伝達を二系統化しました。また、国土交通省と各自治体と連絡体制を強化するホットラインを再確認しました。

### **【期待される効果】**

情報伝達の二系統化及びホットラインにより、情報が早くかつより正確

な内容が伝達され、自治体の速やかな初動体制の確立や早期の災害対応が可能となります。

**【今年度の取り組み】**

引き続き取り組んでまいります。

### **(3) CCTV 画像のネット配信**

**【実施内容】**

自治体及び放送局へCCTV画像を配信しています

**【期待される効果】**

各自治体へはインターネットを通じて、各放送局へは直接CCTV画像を配信することにより、リアルタイムで現地のより正確な情報が可能となり、情報の共有化とともに水防や避難体制の迅速化が図れます。

**【今年度の取り組み】**

インターネットで配信できるCCTV画像の追加及び配信希望の放送局への提供を行います。

### **(4) 水防団との合同巡視**

**【実施内容】**

自治体及び水防団との合同巡視を実施します。

**【期待される効果】**

現地で直接水防活動を実施する水防団の方と、重要水防箇所情報を共有化することにより、迅速な水防体制の確立、よりの確な水防活動の実施が可能となります。

**【今年度の取り組み】**

引き続き実施します。

### **(5) 樋門操作員講習会の開催**

**【実施内容】**

整備した設備の説明及び樋門操作・点検についての講習会を実施しました。

**【期待される効果】**

洪水時の樋門操作の正確性の向上

# 補助距離標の整備状況 天神川の位置図



補助距離ポール

補助距離標の整備状況(H18.3.31現在)

天神川左岸	27.0%
天神川右岸	82.0%
小鴨川左岸	44.0%
小鴨川右岸	37.0%
国府川左岸	37.0%
国府川右岸	35.0%
三徳川左岸	25.0%
三徳川右岸	17.0%



補助距離標

# 大型土嚢 と 土嚢用の砂

設置箇所：倉吉市田内（天神川 左岸 6k450） 水防倉庫横



← 防災時には、堤防が低い所など  
必要な箇所に設置します

1 個の土嚢の容量は約  $1 \text{ m}^3$  で、  
約  $2 \text{ t}$  の荷重に対応しています →



## (4) 堤防天端の舗装

着工前



国府川左岸6k500 管理用通路の舗装剥がれ

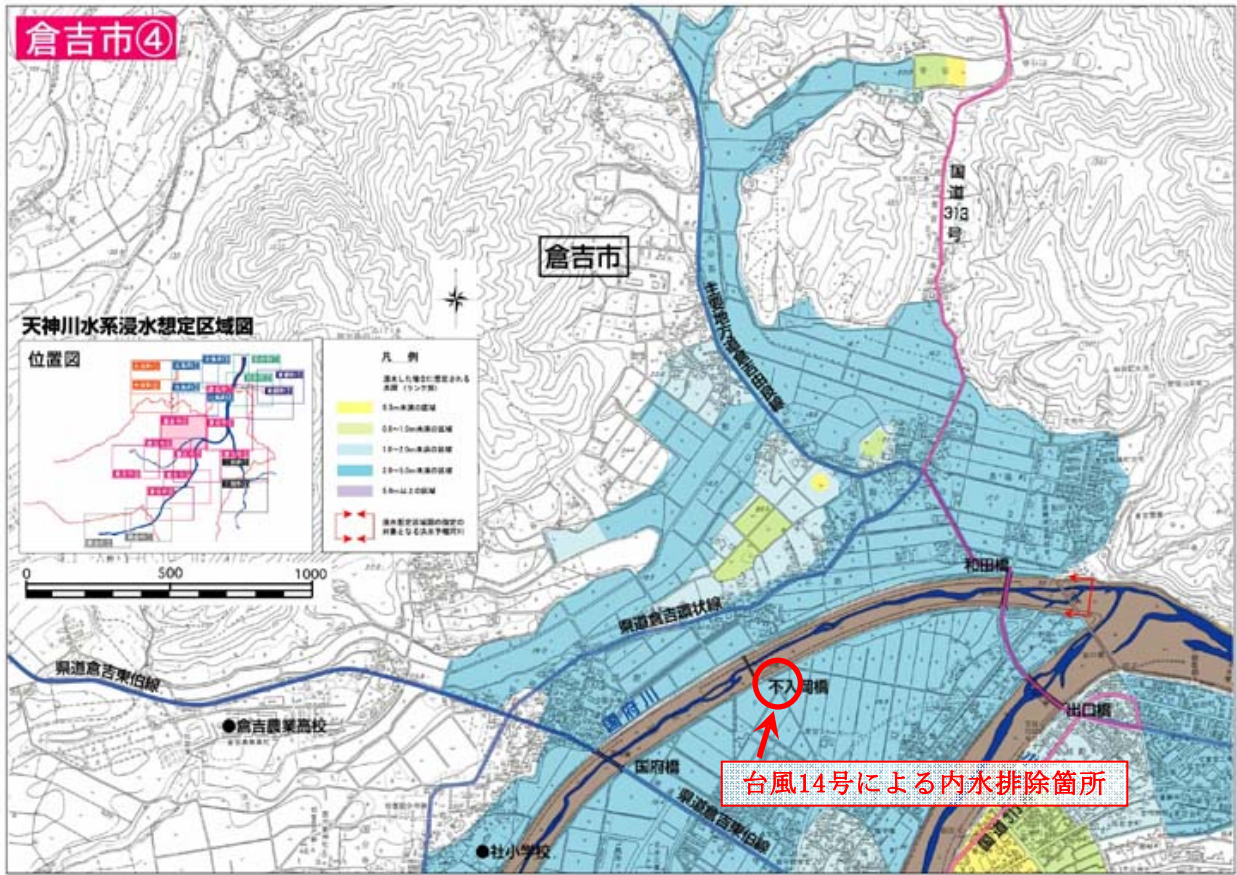


着工後



# 【期待される効果】

多種多様な災害対策機械を配備し臨機応変に対応します。



## 災害復旧作業



# 【今年度の取り組み】

平成18年6月8日

災害対策機械(排水ポンプ車・照明車)の操作訓練を実施しました。





## ○市町村長との緊急時ホットライン

二系統目の伝達経路を使用し、河川の水位状況・氾濫により予測される被害状況等について情報伝達を行う。

### 実施例：

平成18年度情報伝達演習(中国地方整備局)における倉吉河川国道事務所と北栄町長との問答

北栄町長

Q1. 洪水の状況はどうなっていますか。

倉吉河川国道事務所長

A1. 現在、天神川では災害が発生していません。

しかし、本川上流 三朝町の穴鴨観測所で、8時から9時にかけて、時間雨量が48mmという非常に激しい降雨が降り続けています。

このため、倉吉市内の竹田橋でこのまま50mm以上の雨が降り続くと4時間後には危険水位5.3mを超える恐れもあります。今後は、天神川下流も洪水の恐れが高まりますのでご注意ください。

北栄町長

Q2. 現在、特に危険と思われる箇所はありますか。

倉吉河川国道事務所長

A2. 現在、竹田橋の水位も指定水位の2.90m程度であり、北栄町内では特に危険な箇所がありません。ただし、激しい降雨が今後も続く見通しであるため、引き続き注意が必要です。

北栄町長

Q3. 激しい降雨が続いた場合、北栄町内で危険となる箇所はありますか。

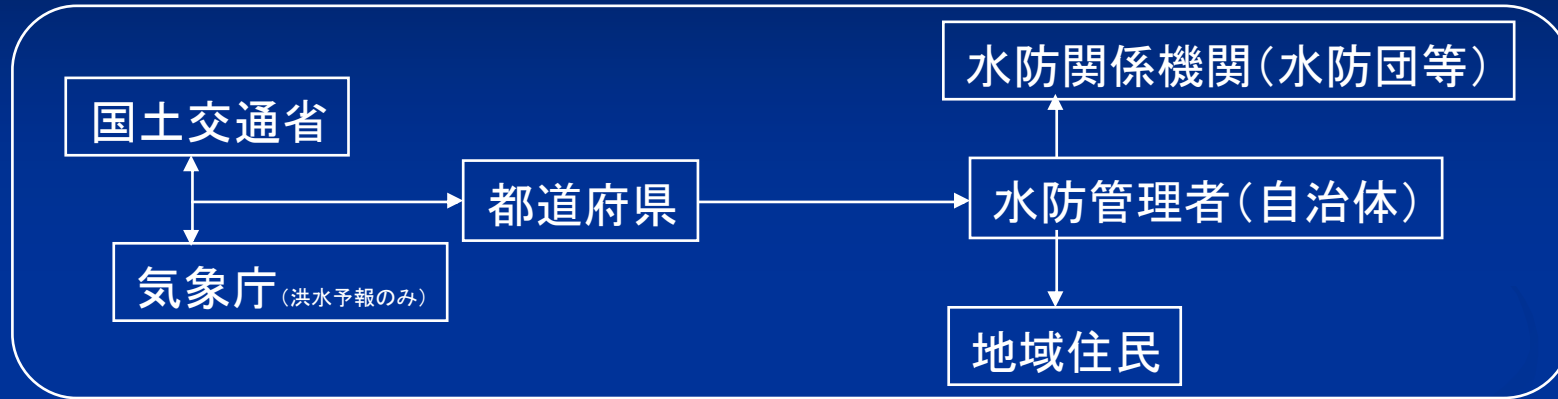
倉吉河川国道事務所長

A3. 現段階では、北栄町内で災害が発生する可能性は低いといえます。しかし、河川は増水しており危険であるため近づかないよう、住民へ周知が必要かと思えます。

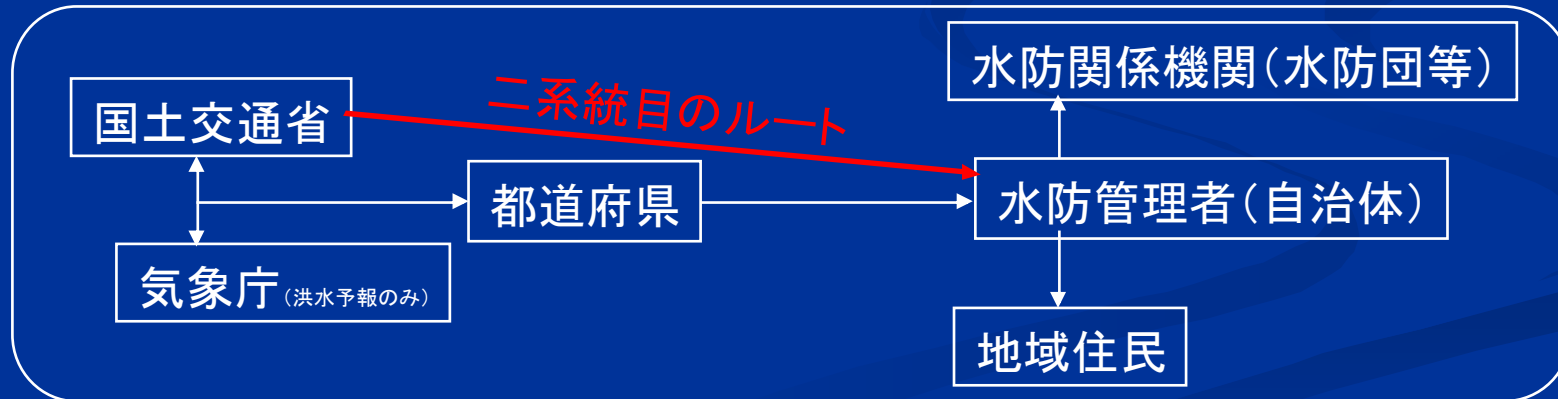
## (2) 情報伝達の二系統化とホットラインの設定

### ○情報伝達の二系統化

従来の情報のながれ

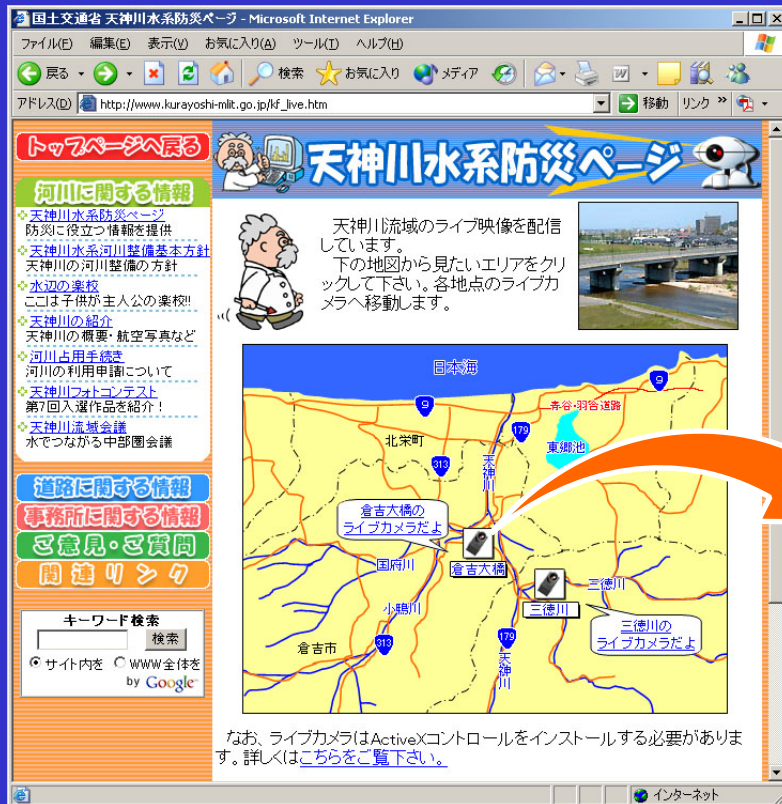


二系統の情報のながれ

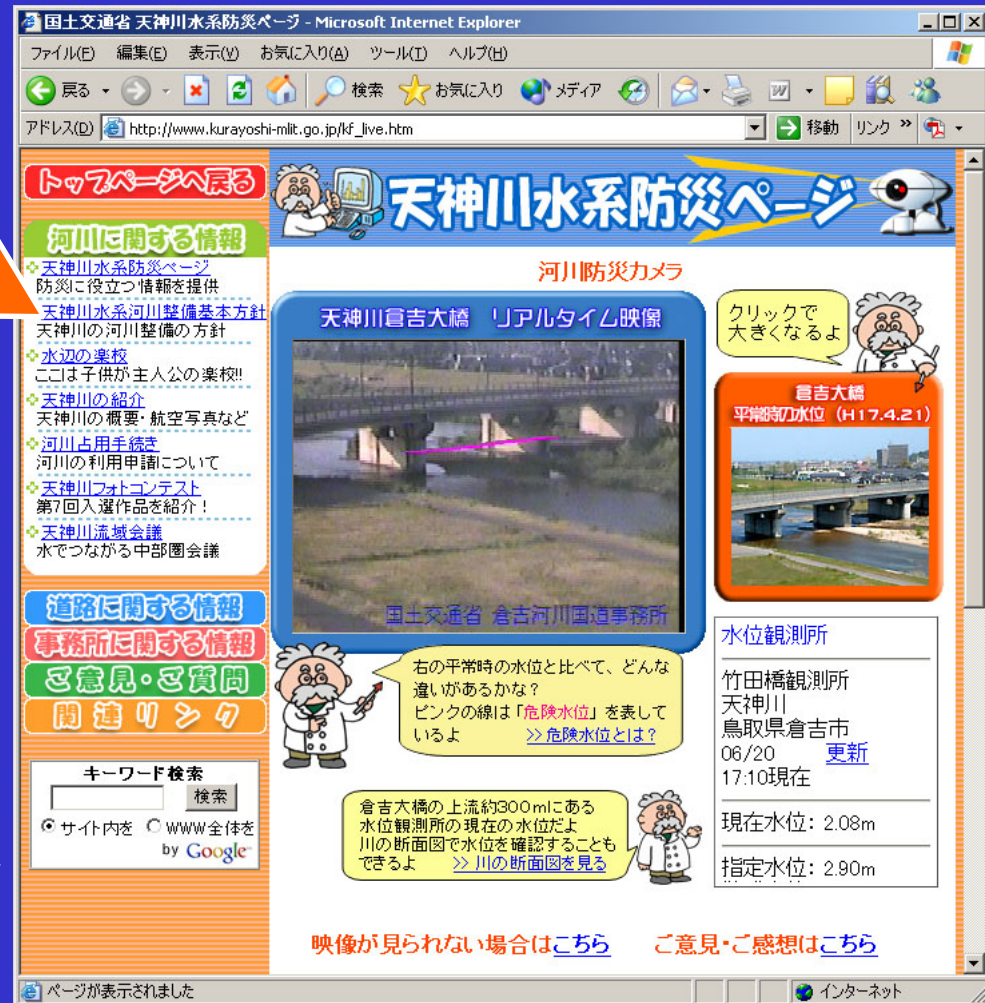


二系統で情報伝達を行うことにより、自治体がより迅速に対応可能となる

# CCTV画像のインターネット配信



自治体への情報提供  
 (インターネット経由でカメラ2台分)  
 報道機関への情報提供  
 NHK



現場の情報がリアルタイムで確認できる!

# 樋門操作員講習会

平成18年6月21日（水）、倉吉河川国道事務所が操作委託している樋門の操作員及び委託先の倉吉市・湯梨浜町・三朝町・北栄町の担当者に集ってもらい、樋門操作員講習会を行いました。

この講習会は概ね3～4年に一度行っており、今回は平成15年度以来となりました。

講習会では、樋門の目的、樋門操作の重要性、操作上の注意事項について事務所担当者が説明を行い、意見交換も行い活発な意見も出されました。

また講習会終了後、近くの樋門で実際に操作を行う現地確認作業も行いました。

